

令和7年4月1日より、

## 「情報流通プラットフォーム対処法」

が施行されました。

SNS 事業者に対し  
誹謗中傷投稿への  
対応を**義務化!**



情報流通プラットフォーム対処法って?

SNS や動画投稿サイト、匿名掲示板などで、人の権利を侵害するような投稿の拡散を防ぐための法律です。被害者が投稿の削除を申請することで、SNSなどを運営する大規模な事業者（大規模プラットフォーム事業者）は調査を行い、削除をするかどうかなどの結果の通知を被害者へ7日以内に行うことが義務付けられています。



なぜそのような法律ができたの?

パソコンやスマートフォンなどの普及によりインターネットが身近なものとなり、特に近年は自分の思いを書き込んだり、情報収集を行ったりするために SNS などを利用する人も増えてきています。一方で、同和地区、外国籍の人、障害のある人への差別的な内容や、誹謗中傷など、人の権利を侵害する投稿による被害が増え、大きな社会問題にもなっています。

そこで、そういった投稿があった際に、被害者が運営事業者へ速やかに削除対応を求め、それに対して事業者が対応しなければならないような法律にすることで、誹謗中傷を防止し、だれもが安心して利用できるインターネット環境を整えることをめざしています。



ひとりひとりにできることはあるのかな?

「情報流通プラットフォーム対処法」という法律は整備されましたが、わたしたちひとりひとりがインターネットの使い方を日頃から意識することも、とても大切です。人を傷つける内容を投稿していないか、真偽がわからない情報をそのまま受け入れて別の人へ広めてしまっていないか……いつもインターネットの向こう側には相手がいることをひとりひとりが想像しながら、便利に使えるといいですね。



# 戦後・被爆80年平和事業 2025ピースフォーラム in ふくちやま

戦後・被爆 80 年の節目の年にあたり、1987 年に議決した「恒久平和宣言都市 福知山」の理念を若年層を中心に広げ、市民が平和で安全な環境のもと、一人ひとりの人権が尊重された幸せな生活を営むことができるよう、世界平和の実現、恒久平和を発信する機会とした「2025 ピースフォーラム in ふくちやま」として、一年を通して様々な平和事業を実施します。

**過去** 戦争・被爆の記憶を風化させないよう、平和への思いを次世代へつなげていく。……

## 平和・人権 中・高校生派遣研修事業

中・高校生を派遣し、広島（中学生）・長崎・沖縄（高校生）が実際に現地に行き、平和学習をすることで、豊かな人権感覚を身につけ平和の尊さ大切さについて学び、自ら市民の人へ発信する人材の育成。

## 巡回 ミニミニ原爆展

ヒロシマ・ナガサキの被爆の実相を伝えるパネル展を、市内巡回して開催し戦争の悲惨さや平和の大切さを考える。

## 現在

5月17日には「発行されなかった卒業証書展」として、戦争の犠牲になったウクライナ人学生の記憶を語る展示会と、戦争を体験し、日本に避難しているウクライナ人のボンダレンコ・マリヤさんによる講演会を開催しました。現在ウクライナで起こっている事実に目を向け、なぜ戦争が起こったのか、当事者の声を聞き、戦争の悲惨さ・平和の大切について考えました。

### 参加者の感想

- ・言語、文化まで奪われていたことが理解できました。軍事進攻の背景にはロシアによるウクライナの差別や蔑視が存在していると感じました。戦争と差別は切り離せずに出てくるのだと思いました。マリヤさんの活動にとっても敬意を感じた。私たちのできることを考えていきたい。
- ・私は学生時代から広島・長崎などに平和学習に参加して学習を続けてきたけど知らないことが多くあると思いました。現在も戦争が続いていると思うととても心が痛みます。私に何ができるかと考えたときにこの現状を忘れてはいけない、伝えていくことを頑張っていきたい。



「発行されなかった卒業証書展」



「ウクライナ避難民からの報告」ボンダレンコ・マリヤさん



**未来** 「過去は変えることはできないが 未来は変えられる」……

## 平和・人権つながり広がり事業「ピースフォーラム」

平和・人権学習を行う小・中・高校生の合同での学習会を開催することで、お互いに情報交換し、人権意識を高め合い、平和・人権啓発リーダーの育成を図る。また、市内で平和活動をしている人たちとの交流。

## 人権・平和の輪をさらに広げ

戦争のない人権が尊重された平和な未来に向けて取り組みを推進します



「昨年のピースフォーラムの様子」

### 恒久平和宣言都市 福知山

非人道的核兵器の使用が、人類と地球の破滅をもたらすことに鑑み<sup>かんが</sup>、生命の尊厳を保ち、人間らしく生活できる真の平和実現に寄与するため、全国の自治体、さらには全世界全ての自治体に核兵器廃絶、平和宣言を呼びかけ、非核宣言を実施した自治体間の協力体制を確立することを目的とした日本非核宣言自治体協議会に賛同し、福知山市では、1987年に「恒久平和都市宣言に関する決議」を議決し、毎年、平和に関する取組を進めています。

# 沖縄人権文化体験研修



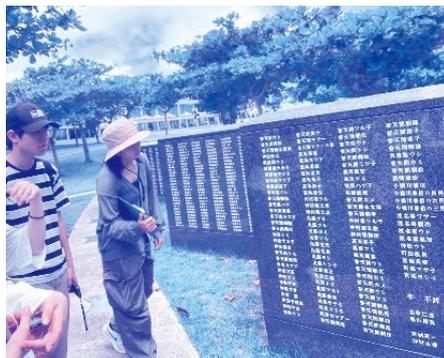
人権啓発リーダーとしての人材の育成を目的としています。国内最大の地上戦の地である沖縄の歴史や文化、そして沖縄戦の実相にふれ、平和と人権の尊さについて学びます。

## 国立療養所 沖縄愛楽園



愛楽園はハンセン病の療養施設です。施設職員の方から、ハンセン病患者への差別の実態や歴史について、また療養所での暮らしの様子を聞き、ハンセン病の理解を深めました。

## 平和の礎



平和の礎には沖縄戦などで亡くなった24万人余りの人々の名前が国籍や軍人・民間人の区別なく刻まれています。毎年、追加刻銘者があり、今もなお更新されています。

## 糸数壕（アブチラガマ）



糸数壕は沖縄本島南部にある自然洞窟です。負傷兵や住民のための避難壕として使用されました。暗闇の中、過ごした人々がどのような気持ちだったのか思いをはせました。

# 長崎平和学習の旅



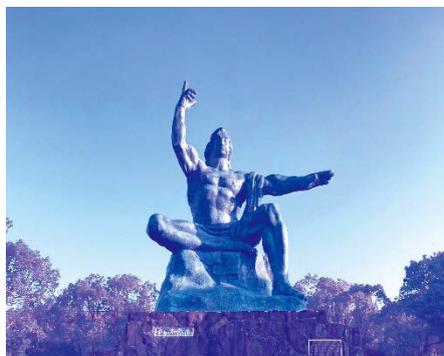
「恒久平和のまち福知山」を多くの人に啓発できる人材を育成することを目的としています。次世代を担う若者が被爆地・長崎での平和学習をとおして、戦争の悲惨さと平和の尊さを学びます。

## 青少年ピースフォーラム



全国から集まった小学生・中学生・高校生と一緒に、被爆体験講話の聴講やグループワークを行いました。平和について学習を深めるとともに、参加者同士の交流を行いました。

## 平和祈念像



長崎市民の平和への願いを象徴する平和祈念像です。天を指した右手は“原爆の脅威”を、水平に伸ばした左手は“平和”を、軽く閉じたまぶたは原爆犠牲者の冥福を祈るという思いが込められています。

## 浦上天主堂（浦上教会）



キリシタン弾圧から解放されたカトリック信徒たちによって建設されました。原爆により、わずかの堂壁を残して壊滅しましたが、今では当時の姿に似せて復元されています。



# 昭和小学校の人権教育

## 学校教育目標

### 「自ら学び つながり合い 未来を拓く 昭和の子」

#### 身に付けさせたい力

- (1) 好きなことを追求し、高い専門性や技術力を身に付け、自分で課題を設定して、考えを深く掘り下げる力
- (2) 多様な人とコミュニケーションを取りながら、新たな価値やビジョンを創造し、社会課題の解決を図っていく力

### 人権学習の充実

- 年間指導計画の作成・実践・検証
- 普遍的視点と個別的視点からのアプローチによる指導
- 教職員研修の充実
- ブロック内の幼稚園・小学校・中学校との連携のもと総合的な取組を推進する。

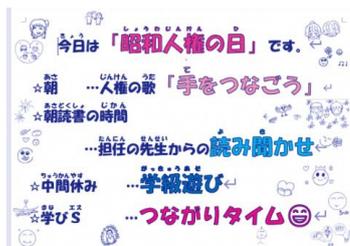


### 学力の充実・進路保障

- 学力実態の把握と個々の課題に応じた指導の充実
- 授業の工夫と改善
- 体験的な活動や問題解決的な学習の充実
- 「学びタイム」の充実や個別学習の充実
- ICT機器の効果的な活用

### 一人一人の人権を大切にしたい集団の育成

- 笑顔委員会によるあいさつ運動やアルミ缶回収などの取組
- PTAとタイアップした取組の推進(人権講演会)
- 「昭和じんけんの日」の実施(毎月末木曜日)
  - ・教師による読み聞かせ
  - ・学級遊び
  - ・つながりタイム(コミュニケーションの場)



### 人権旬間の設置

- 人権旬間
    - ・前期(6月下旬～)
    - ・後期(11月下旬～)
- 【人権はじめの会・まとめの会、人権学習、全校の取組】

# 大江学園の人権教育

## 学校教育目標

### 自らを律し、仲間と協力し、 自己実現を目指して取り組む児童生徒の育成

〈めざす児童生徒像〉

ア 自ら学びに向かい、目標を粘り強く実現できる児童生徒  
イ 思いやりの心を持ち、協力し合える児童生徒  
ウ 自分、社会、将来をつなげて考え、行動できる児童生徒  
エ ふるさと大江を愛し、地元に貢献できる児童生徒

## 一人一人を大切にする人権学習

- 人権学習の公開
- 人権を大切にする「大江っ子」を育てるための人権学習・校内研修
- 9年間を見通した全体計画、学年年間指導計画の作成



## 学力充実・進路保障

- 放課後学習会による学力補充
- 家庭学習習慣定着の取組
- 学力テストの分析・活用
- 各種検定試験の実施

## 人権を大切にする仲間づくり

- 異年齢活動の充実 (小中)
- 学級活動、遊びの充実 (小)
- 小中合同行事の実施  
(スポーツ・フェスティバル)  
(カルチャー・フェスティバル)
- 感謝の思いを伝える取組  
(サンクス・フェスティバル)



## コミュニティ・スクールの取組

- 学校運営協議会の実施 (年2回)
- 児童生徒、教職員、PTA、地域合同のPTA人権講演会
- 読書ボランティアによる読み聞かせ

# 幸福とは何でしょう



「貧しい人とは限りない欲をもち、いくらあっても満足しない人のこと」。これは今年5月13日、89歳で亡くなった南米ウルグアイの元大統領ホセ・ムヒカさんの言葉です。ムヒカさんは2010年から2015年まで大統領として消費主義への批判、同性婚の合法化等を推進した人物ですが、彼の名前が広く知られるようになったのは、報酬の大半を寄付し、自身は農場で暮らすという質素な生活ぶりからついた「世界で最も貧しい大統領」という愛称からだと思えます。

2012年、ブラジルで各国の代表が集まり開かれた地球環境の未来についての会議の中で、当時のムヒカ大統領の演説が話題になりました。彼はこの演説の中で、今まで人類がつくりあげてきた、行き過ぎた消費主義を批判しています。彼の主張を要約すると次のようなものです。

我々は地球の環境を守り、世界から貧しさをなくすにはどうすればよいか、という大きな課題を抱えながら、頭ではもっと豊かで、裕福な生活を送りたいと望んでいる。そこで世界各国は自国をより豊かにするため、競って自国の資源や産業、高度な科学技術を活用して研究、生産を繰り返してきた。それが徐々にエスカレートして行き過ぎた資本主義が形作られた。古いものは使い捨て、次々に新しいものを求める。そのためにどんどん新しい製品がつくられていく。新しいものを開発するため、新しいものを買い求めるため、我々は心血を注いで働く。欲求を満たすために人生のほとんどを費やして。このような状況の中で「心ひとつに みんな一緒に」と訴えて意味があるだろうか。我々は生き方を見直すべきではないか。

ムヒカさんは2016年4月に出版社の招きで来日しています。そこで池上彰さんと対談し、その中で池上さんが独自に日本人とウルグアイ人に実施したアンケート「今、一番欲しいものは何ですか」の結果を報告しました。それによると日本人の場合、1位：お金、2位：時間、3位：健康。ウルグアイ人の場合、1位：治安の良さ、2位：健康、3位：時間。これを聞いたムヒカさんは次のようにコメントしました。「日本人は何のために時間を使うのか。子どもと過ごす時間、家族や友人と過ごす時間、自分の人生を生きる時間。もっと働いてお金を稼ぐための時間なら、消費社会に支配されている」

ムヒカさんは決して経済の発展を否定しているのではありません。経済の発展がなければ人々の生活も向上しないことは理解しています。ただ社会が発展することが幸福を損なうものであってはいけないと言っているのです。「発展とは人間の幸せの味方でなければならないのです。人と人との幸せな関係を結ぶこと、子どもを育てること、友人をもつこと、地球上に愛があること。こうしたものは人間が生きるためにぎりぎりに必要な土台です。発展はこれらを作ることの味方でなくてはならない」※と彼は言っています。



豊かさや幸せは人それぞれです。自分にとって本当の豊かさや幸せとは何か、ちょっと考えてみてもいいのではないのでしょうか。

※参考：汐文社「世界でいちばん貧しい大統領のスピーチ」より

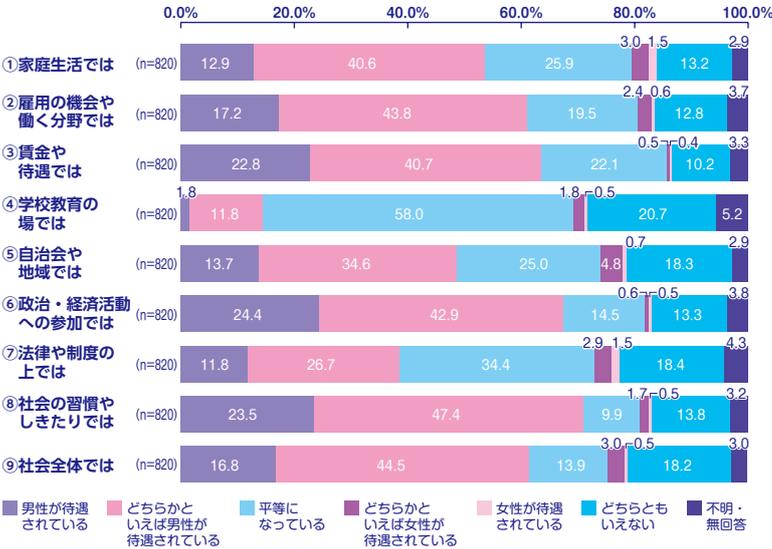
ウルグアイ  
首都はモンテビデオ。人口は約340万人。国土は日本の約半分。牧畜業が主要産業で牛肉、羊毛の輸出が盛ん。

# 男女共同参画市民意識調査結果を見てみよう！

本調査は、令和6年度に「第4次福知山市男女共同参画計画はばたきプラン2021」を見直し、市の実情にあった後期計画策定の基礎資料とするため実施しました。

## 男女平等感と性別にもとづく意識について

(問) 社会において男女の状況はどの程度平等になっている？



◆◆ 社会における男女不平等感は根強い ◆◆

男女平等と答えた人は、「学校教育の場」が58%と最も多く、「政治・経済活動への参加」は14.5%と少なく、「社会の慣習やしきたり」では、9.9%と最も少ない回答でした。

また、社会全体で見ても「平等」よりも「男性が優遇」と答えた人が多くなっています。様々な男女平等の取組が進められ、男女平等の意識が高まっていますが、本市のこれまでの調査に比べても不平等と感じる人がいまだ多い状況です。



では、どうしたらいいの？

社会における「男性優遇感」が根強い背景には、「女性だから、男性だから」という性別にもとづいた固定観念や無意識の思い込み（アンコンシャス・バイアス）が影響しています。

アンコンシャス・バイアスは誰もが持つものですが、思い込みによる決めつけや判断は、時として相手に不快感を与えたり、傷つけたりすることがあります。また、自分自身も固定観念にとらわれて選択肢を狭めてしまうこともあります。

一人ひとりが、様々な場面で思い込みで決めつけていないか考えてみましょう。

性別にかかわらず誰もが活躍できるよう、みんなで男女共同参画社会を築いていきましょう！

本啓発紙「That's Right! 第32号」を読んでみて、感じたご感想・ご意見をお聞かせください。また、標語応募や人権について感じていることがあれば、ご記入ください。

ご意見・ご感想・標語など

ありがとうございました。よろしければ、情報をお聞かせください。

〒 \_\_\_\_\_  
ご住所

お名前

いただいた情報は、福知山市個人情報保護条例に基づき、適切に処理します。

※地域や職場での研修に使っていただけるよう「市民意識調査報告書概要版」を作成しました。ご希望の方は、お問い合わせください。

問合せ先：人権推進室（電話 24-7022）

## ・・・ 啓発ビデオ (DVD) のご案内 ・・・

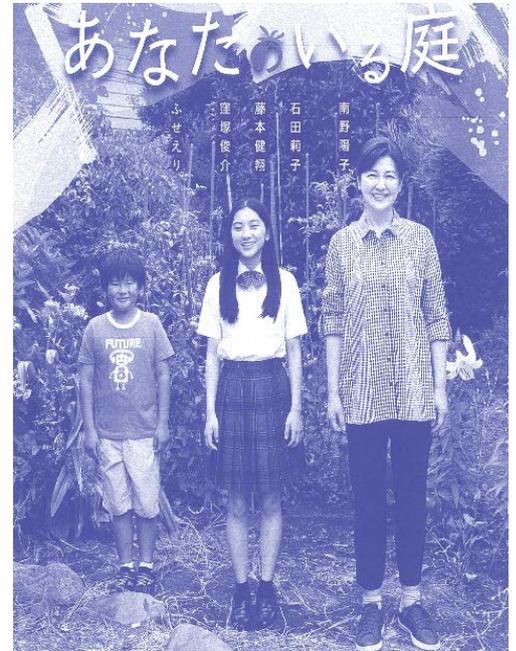
福知山市市民生活部人権推進室では、皆さんが職場や地域で自主的な人権学習をすすめていただくための啓発教材 (ビデオ・DVD) の貸出をしています。さまざまな人権問題をテーマとした教材を用意していますので、ぜひご活用ください。

☆タイトル「**あなたのいる庭**」 (DVD 35分)《令和6年度作品》《企画:兵庫県人権啓発協会》

### 企画のねらいとあらすじ

社会には、虐待や貧困、死別など様々な理由で保護者と暮らせず、児童養護施設など社会的養護のもとで暮らしている子どもたち、そして社会的養護下から自立したが、家族からのサポートが得られずに生きている人たち (ケアリーバー) がいます。社会的養護の現状や実態を知る人は少なく世間からの無理解と偏見にさらされ、居場所を見いだせず、進学や就職など生きる上で様々な困難に直面している現状があります。

阪神・淡路大震災で夫と幼い娘を亡くし、心を閉ざしたまま生きる和佳奈の唯一の拠り所は、自宅の庭で花や野菜を育てること。だが、ある日、大切に育てていたトマトの芽が何者かに踏みつけられていた。誤って庭に入ってしまったと謝罪に訪れたのは、児童養護施設 (のじぎく園) で暮らす美結と玲央だった。



## 人権と平和に関する 標語の募集

- 作品内容:人権と平和に関するもの。
- 規 格:募集様式は自由。  
作品には住所、氏名を記入してください。  
標語は1人3点以内。
- 募集期限:令和7年9月24日(水)まで
- 応 募:本誌の印刷ハガキ(左紙)をお使いください。
- そ の 他:応募者への記念品はありません。

☆咲かせよう 平和の種から 笑顔の花を  
☆知らんぷり そんな自分は 好きですか?  
☆SNS 心ない言葉で SOS  
☆分からない 何が基準で 普通なの?  
☆いいんだよ 今のあなたで そのままで  
(令和6年度小中学校保護者作品より)

85円切手  
をお貼り  
ください

6 2 0 0 0 3 5

福知山市字内記100  
福知山市役所内

福知山市市民生活部人権推進室 行